



世界に希望を生み出そう

# 脇町ロータリークラブ

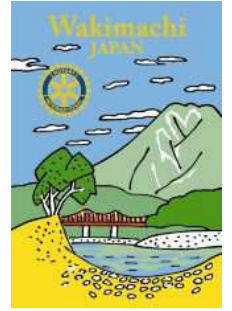
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2024年5月30日 木曜日

第41回例会 No. 2880

会員総数:39名 出席者27名 修正出席率:87.10%



## ●メーキャップ

5/29 静内RC例会訪問 7名

## ●会長挨拶

川原会長 皆さんこんにちは。静内 RC 訪問された7名の皆様、ご苦労様でした。私の会長もあと一ヶ月と最終コーナーを回ったと思って少しずつ気持ちが楽になっています。しかし会長職をすることによって多くの人に出会い、様々な経験をしてきました。私自身、吉岡ガバナーとも数回お会いして、お話をさせていただく中で、メンタルの強いしっかりした方だなと感じています。地区テーマが「挑戦しよう」なので、どうして挑戦しようだったのかと思うことがあり、僕の今までの読んだ本の中で関係していることをお話したいと思います。アメリカの空軍大佐がペンタゴン式の心の鍛え方というのを多くの方がわかるように書いた本です。かなり以前に読んだ本なのですが、心に留めたいことはスライドに作ることをして、このスライドを引っ張ってきました。心の鍛え方は、3つあることを書いています。一つ目としては「柔軟な心を持つための挑戦の重要性」というのがあります。何かに挑戦し続けている状態で、挑戦し続けることで心が鍛えられます。実際の挑戦をやめてしまえば人は幸せを得ることも、成功を手にするのも難しくなるでしょう。大切なのは少し無理かもしれないと思うことであっても自分に負荷をかけ続けることです。とのことでした。2つ目は、「恐れとその克服方法」があります。挑戦し続ける際にわいてくる、否定的な特に恐れを克服することが必要です。心が恐れに奪われそうになったとき、自分の癖が分かります。恐れを克服するためには自分の弱さを受け入れ、失敗を許すことが共通の解決方法です。3つ目は、「柔軟な思想と歴史から学ぶ視点」です。歴史を学ぶとき、そこに物事を正確に捉える高い視野が生まれ、これが心を鍛えることに繋がるのです。こういったことを改善法では書いています。もしかしたら吉岡カバーも挑戦し続けることで、自分の心を鍛えていたのかなというふうに感じました。大好きな皆さんにもこれからずっと、挑戦し続けていただきたいと思います。会長挨拶は以上です。今日もよろしく願いいたします。

## ●幹事報告

佐藤直樹幹事

到着週報

到着書類

連絡事項

来週、例会終了後、理事会及び60周年実行委員会を行います。

## ●委員会報告

ゴルフ部

今週の日曜日6月2日、5クラブです。会場はJクラシックです。

笠井会員

宮本会員

時期のゴルフ部です。アンケート用紙を配布しました。

優勝の権利については、年に一回だけと言うことになっております。出来るだけ取切戦の権利保持者をたくさん出したいということです。ニアピンとドラゴンにつきましては、技術的なものですので、取った人は遠慮なく書いてください。以上です。

## ●プログラム

卓話

すっかりご無沙汰を致しております。今度1万円札が新しく変わります。新しいお札の渋沢栄一

千葉会員

さんは大河ドラマにもなりましたので、ご存知のかたもおられると思います。

けれども今回は、今の1万円札のお方の話をさせていただこうと思います。

福沢諭吉さんという方は、ご出身が大分県の中津というところでもあります。お父さんは中津藩の中でも下級藩士だったようで、お金持ちのお坊ちゃんではなかったようです。下級藩士で儒学の先生であります、計算が得意な方だったようです。当時は、政治の中心地は江戸で、経済の中心地は大阪でした。今で言う船場のあたりが日本中のお米が集まってくる一大拠点でした。北前船に物資を積み、日本中のものが集まっていたのは大阪の市場でした。大阪のお米を備蓄しておく倉庫がありましたが、そこで御父上はお勤めなさっていたそうです。ただ残念ながら45歳のときにお亡くなりになったそうです。諭吉の兄弟は5人おられたそうで、諭吉は一番末の男の子でした。お母さんは、お順さんという名前で、シングルマザーになられて大分の中津に子供5人を連れて帰ってからのお話が、今日の内容になります。非常にお寺参りが大好きなお母さんだったそうです。

お寺参りの際、供養の話というのをお寺では聞きます。供養するっていうのは一体どういうことなのかですが、一番古い時代の供養のお話をちょっと先にさせていただきます。

四事供養と申しまして、非常に古い時代の供養の姿です。

最初の供養は、お供えをして振る舞う供養です。飲食を共にするというのは、同じ命をいただき同じ方向を向いて生きていけるという考え方があるのだそうです。お腹が満たされてこそ心も満たされていくという考え方があります。

次の供養は着物です。お布施の字は布という字を書いて施すと書きます。生まれてきたばかりの赤ちゃんに頼まれもせず、体を綺麗にして、この子に風邪引かしたらアカンと言っておくるみで服を着せませす。

その次の供養は、先は何するのかと言ったら寝る場所を用意することです。睡眠できる場所を用意してくれるというのは、非常に心も体にも大切なことです。

最後は、薬を施す供養です。お薬を施すということは、毒は毒、薬は薬とはっきり知識を伝えていくという意味合いがあるそうです。ここまでが、仏教的な供養の一番古い時代のお話でした。

いよいよ最後本題に移ります。実はこのお順さんというお母さん、必ず約束を守った人なんです。当時、大きい銀行がなかった時代に、庶民の助け合いとしてお金の貸し借りがたくさんあったそうです。20人ぐらいのグループが集まって、ちょっとずつお金を真ん中において一番安い金額を入札した人が、自分の事業や借金を返すために、そのお金を借り受けて少しずつ借金を返して行くというシステムがありました。

嘘のない人生を送っていたお順さんのところへは、人がどんどん訪ねて来たそうです。5人の子育てしているシングルマザーの家なのですが、そこへ人がやってくると大変だろうと思うのですが、人がやってくたら、お順さんは、いつも変わらない態度で、立ち話もなんやからお茶でも飲んでいきや、というタイプなんだそうです。

有名な話なのですが、当時親が居なくなった五、六歳の女の子が訪ねてくるのですが、この女の子がきた時にお順さんどうしたのかと言ったら、家の中に招き入れて家の庭へ連れてきます。庭へ連れて行ってシラミとかがついていますので、取ってあげます。その後に服を脱がせて洗濯するからと言ってお風呂入っておいでと言ってお風呂に入れます。お風呂から出てきたらうちの服がちょうどあるからと言って服を着せませす。最後にお腹すいたから、一緒にご飯食べようと言って、ご飯を食べさせます。

その時に当時まだ四つ五つの諭吉にお順さんがいうのは、「諭吉よ、この子も仏さんに願われて必ず救われていく命ぞ。仏さんにお生まれになったその先に、またこの世界に帰ってきて、悩み、苦しみを作っていくお手伝いをしてくださる。この方も仏さんに願われて、仏さんに生まれて行く命やからこの子のことを決して粗末にしちゃならんぞ。ほかの人のことも粗末にしちゃならんぞ。」と、こういう子育てをしたのがこのお順さんというお母さんだったそうです。

そして大きくなった諭吉があのお母さんの言葉を残しました。「天は人の上に人を造らず。人の下に人を造らず。」です。あの天という言葉は仏様のことであります。

仏教の話を聞いてなかなか難しいと思いますが、一言で言ったら、人が人としてお互い接して行く中で、お互いのこと、尊厳を大切にすること。あとは自分がさせてもらうことに対する感謝です。人のことを大事にしろと言ってお順さんが示されたことが、印象に残っていて、今年はずっとこのご法話をさせていただきました。あのお金を稼いだ人の話ではありませんでしたが、お金になった方のお話をさせていただきました。

長いお付き合いありがとうございました。

●例会ダイジェスト

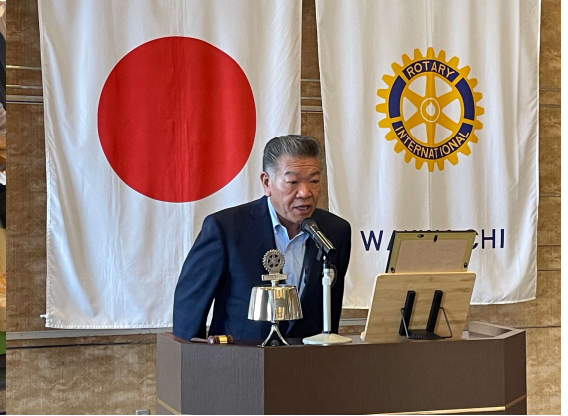
今週の見出し！

お母さんは偉大です。

1. 今週のお弁当。



2. 4つのテスト。



1. かしわでさんの幕の内弁当。

2. 服のサイズが2サイズダウンした支店長。

3. ペンタゴン式。



4. 学問のすすめ。



3. (失敗を恐れず)挑戦しよう。という本です。

4. 一万円を見るたび思い出せそうな話でした。

次回例会

2024年6月6日(木)12:30~

清月屋敷 第一例会

プログラム

卓話 静内 RC 例会を訪問して

次の会員は例会欠席でした。

一井会員、小野会員、加島会員、上柿会員、北川会員、木下会員、郷司会員、友成会員、橋本会員、秦会員、藤川会員、吉野会員  
メイクアップして下さい。

☆ 次回例会の出欠を黒川出席委員長まで連絡してください。